驛遞局認可

明治十九年十二月五日刊行

女學雜誌

每月三回發兌
一册正價五錢
一ヶ月十五錢

第四十參號

東京　女學雜誌社

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

The Women's Magazine

(JOGAKU ZASSHI.)

No. 43. DECEMBER 5TH, 1886.

EDITORIAL: Political Position of woman and Higher Education.

LEADING ARTICLE: A Woman's War, by Dr. Eastlake.

MISCELLANIES: Causes of Failure in Family Government; Much depends on the Propriety of Address; Hair-dressing illustrated (5), by K. Watanabe; Method of Ascertaining the Time of Child birth.

CRITICAL NOTICE: Mr. T. Funakoshi's "How to care of the mother and the baby" (Sanpu Shōni Sessei hō).

BIOGRAPHIES: Chelonis; A Woman: No. VI.

CORRESPONDENCES.

GENERAL NEWS.

ADVERTISMENT.

第四拾參號

●社說 女子の參政及高等敎育

●論說 女流の戰爭(二)(博言學士イーストレーキ)

●擬話 家庭敎育の要目○物は言ひ様(小林啓二郎)○東髮圖解第五(渡邊鼎)○出產の期日を知る法(船越鼎太郎)

●批評 船越鼎太郎君の產　小兒攝生法

●佳傳 チェローニス孝貞を全せし美談○桝離佳人傳(第六回)

●寄書 婦人を政務に參與せしむ可らざる說(白兒義獨立新聞抄譯)○青山學校開校式の祝歌(三角艶子)

●新報 廿則

●廣告

●歌書一覽(上)

万葉集(二十卷)平城天皇の大同年中成る左大臣橘諸兄公の撰したるもの也

古今集(二十卷)醍醐天皇延喜五年紀貫之、紀友則、凡河内躬恒、壬生忠岑、等勅を奉じて撰したるもの也

後撰集(二十卷)村上天皇の天暦、藏人伊尹、大中臣能宣、清原元輔、源順、紀時文、坂上望城、等勅を奉して撰したるもの也

拾遺集(二十卷)花山院天皇御撰にて長德年間に成る但し或は曰く公任撰したるもの也

後拾遺集(二十卷)白河院天皇應德三年中納言通俊撰したるもの也

金葉集(十卷)白河院天皇承保二年源俊賴勅を奉して撰したるもの也

詞花集(十卷)近衛天皇天養元年三位顯輔旨を奉して撰したるもの也

千載集(二十卷)後鳥羽院天皇文治三年俊成旨を奉して撰したるもの也

新古今集(二十卷)後鳥羽院文久三年通具、有家、雅經、定家、家隆、等旨を奉じて撰したるもの也

以上を八代集と云ふ

Digitized by Google

Original from CORNELL UNIVERSITY

女學雜誌第四拾三號　明治十九年十二月五日

● 社說

○女子の參政及高等敎育

近頃發兌の東京獨立新聞には編者イーストレーキ君其の女流の戰爭と云へる一篇を掲げ學士ヘーリング氏は之に接で日本の女論と題したる者の初章を寄せられぬ然るに兩氏の立論全く反對に出たるが故にイーストレーキ君は答論一篇を草して之を唯女子なればと題しフロイラインハートゥイッヒに代つて其の怨を辨ぜられたり而して右兩氏の文章は皆更に吾人へ惠贈を辱ふしたればイーストレーキ君の論は既に前號及本號に於て之を譯載したり其餘も引續き次號に掲載すべきが故に讀者は之に依て其論意を瞭知あるべし吾人も亦た最後に於て少か私考する所を論述せんと欲する者なりと雖も今先づ多少の意見を表して此論に對する世人の注意を促すは適當の事ならんと信ぜり

抑も女子に參政の權を附與すべしと云へる議論は歐米に於て其行はるゝと甚だ舊し然れども英國に女皇君臨して下にミルフォーセットの如き學士輩出したる以來此論急かに勢力を得て遂に今日の景況に逹せり故に此論を主張すると尤強く此論に加擔する者尤も多きは蓋し英國を第一とす近時博士ウイザルスムール氏が英國の醫學會長となりたる時婦女子の參政及高等敎育を非難したる如きは實に非尋常の事と云ふべし（投書家某君は同氏の論を譯して投寄ありぬ吾人は直に之を本號に掲て其好意を謝す讀者諸君宜く寄書欄内を參看あるべし）英國に次て此論の尤も勢力あるは合衆國にして此論を尤も不可とするは日耳曼なり今まイーストレーキ、ヘーリング、の兩氏が明白に其所論を反對さるゝものは實に其由緣なきにあらざる也」ヘーリング氏は云ふ女子は男子と體力心力を相違するが故に男女同樣の事を執らしめんと欲するは不可也女子は母たるに適し家を脩るに宜し女子が此等の範圍を超えて政海に入り外事を執るは亂の元なりと而して細に其理由を舉るの勞を執り玉はざりき。思ふに此論を主張するの理由甚だ多し然れ共之に反對して其實施を妨ぐるの理由も亦實に尠からず或は云ふ母妻たるの資格と外事に奔走するの身分とは相矛盾するものなりと之を母性論と稱そ、之に答ふる者は云ふ然らば妻にあらず母とならずして終身獨立する者は即ち政權を得べし是れ此論者の許す所かと。或は云ふ女子をして政權に參與

せしむるは其品質を頑硬にするの損ありと、之に答ふる者は云ふ若し斯の如くならば女子をして全く社會の事を見聞せしめざるを好しとす現今の時代に於て政海の事を苦慮せしめざるは到底爲し能はざるとなりと。或は云ふ女子に政權を附與するも女子を用ひて兵と爲す可らず此れ多く與へて收る少きの損ありと、之に答ふる者は云ふ銃を荷ふのみ必しも兵役にあらず看病婦たるは女子の尤も適する所なり且つ僧徒は現に兵役を免ぜられクヱーケル派は戰爭に從事せざりしとあるにあらずや故に兵とならざるを以て政權を與へずとの理由は不當なりと。其他或は女子は實に政權を望まずと云ひ或は女子は政權濫用の弊に陷ると多しと云ひ或は女子の感化力は政權を執らざるの時に多しと云ふ而して此に對するの答辨亦實に多し」然れども此論の是非を決せんには先づ女の品性を窮めざる可らず生物學上の議論容易にあらざる也。次に社會の性質を辨ぜざる可らず社會學上の議論容易にあらざる也、最後に於て日本當世の現況及び過去の歴史に就て之を附與するの損益を辨ぜざる可らず政治學上の議論容易にあらざる也。密かに思ふに日本の男子未だ充分の政權を得ず國會の開設遠く四五年の後にあり今に於て如此き議論を爲す抑も不要に似たり吾人此事に關しては一個の私見を有する者と雖も之を玆に吐露するは今日に損多くして決して益なきを見る也

然れども女子高等教育の可否に關しては今少か之を辨ぜざる可らずヘーリング氏は云ふ此故にプロシアの文部卿が近時女子の大學生徒たるを禁じたるは尤も適當の處置なりと然れども吾人は吾東京大學及高等中學校に於て今尚ほ女子の入學を許可あらせられざるを奇しむもの也況んや獨乙の文明國に於て如此あるを見るに至ては更に之を奇しまざるを得ざる也抑も女子は男子と心身を異にするが故に其得意とする所も亦必ず違はざる可らず女流の進化は男子の進化と遥に其道を別にしたるを以て其性質も亦必ず違ふ所あらんばあらず故に吾人は男女の同樣ならんとを不可とするにあらずして其實に同樣となり得ざるとを信ずるもの也又女子が社會に立て男子と同樣の事を執るを不可とするにあらずして其同樣の事を執るに於て損多かるべきとを信ずるもの也然りと雖も之が爲に女子に高等の教育を施す可らずと云はゞこれ豈に不當の論法にあらずや例へば妻となり母となるとも尚ほ高等の教育を受るを良とす況やハンナモアとなり、マダムダシーアとなり、ミスパーチーとなり、ミセスマコーレーとなり、マダムラーフェツ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

トとなり、チヤーロツテブロンテ、ピーチエルストウエ、ゼチチエリチツトの流亞たらんとするに於てをや。女子に高等の教育を授るは其躰力を害するなりと云ふ然れども所云る高等の教育を施こして心躰の衰弱する者豈に女流に限らんや若し適當の躰操を行はせ且つ適當の授業を與へば女子豈にひとり之が爲に身躰を害するものならんや抑も女子は從來の經歴に於て躰力の發達甚だ少かりしもの也然るに今突然之に男子と同樣の授業法を科して其身躰を損するを見則ち云く高等の教育は女子に害あるものなりとこれ豈に適當の論法ならんや吾人チヨンヂウエー氏が米國大學女生徒の健康を調査したる報告を見るに高等の教育決して女子に害なきの證明なるが如し思にかの女子高等教育の害なる者は其教育法未だ其道を得ざるに由るなり。由て思ふ男女合教の利害果して何如んこれ亦た數多の議論あるとなりと雖も要するに合教に不利なるの諸點は遂に合教を不可とするに足らざるもの也吾人はもとより女子高等大學あらんとを切望して止まざるものと雖も之が爲に尋常大學に男女の合教を禁ずべき理由あるを知らず況んや今未だかの女子高等大學なるものあらざらんには大學に於て女子の入校を許可するは尤も必要の事なりと信ずる也

● 叢話

○家庭教育の要目

子供を教育する母親は喩へば夏の夕の温和なるが如く亦た波打ち上ぐる岩石の屹然たるが如くなるを要す子供の遊び戯るゝときは己も亦た之が友となりて樂しく持てなすべし其の心配苦勞する時は己も亦た之を思ひやりて親しくすべし然れど之を戒しめ之を責る時は須く嚴然として容謝する所なかるべきなり故に家庭の教育を行ふべき母親は忍耐と確固したる事と優しき事と自から制する事とに於てよく〳〵その心得る所なくんばなか〳〵に其子を宜しきに導くとなど出來まじきなり故に吾人はその心得方のこま〴〵しきを指示せんとを欲するに當り先づ當今の家庭教育に於て足らざる條々を擧げ今の世の母たらん人の注意をあふぐ

一○教育する人の餘りに數多きより起る弊害　子供を監督して之を教へ導く者は母か保姆か成るべく其人の定りてあらんを要す若し然らずして祖父、祖母、兄姉を初として甚しきは叔父叔母まで皆それ〳〵に子供を監督するの任に當らば彼是の教に相違する所出來て子供の心に迷ふ所多くいづれに隨ふて宜しきやを判別しがたきとあり斯ては遂に何れもの言葉を聽

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

かずして驕傲の性質となることあり故に母又は保姆たるもの敎育の任に當り何事もその敎に由て子供の進退をなさするやうにするを良とす故に家內に祖父母叔父母等同居せば心に應はざることありとも之を直ちに子供に對して述ることなく先づ母又は保姆に其旨を傳へて此等の口より子供に敎ゆるやうにすべきなり

二○　父母が餘りに過酷なるより起る弊害　子供は智慧も心も共に淺きものなれば萬事大人と異ることあるは勿論なりされば之を戒しむるにも亦其心得あるを要す僅かの過誤は子供の常なれば殊更に之を叱るは不可なり大なる害を來すべきものと見たらバ其害の恐ろしきことをよく〳〵說き聞かせ自ら心に省みて其樣の所爲をなさゞるやうに導くべし必竟子供を敎ゆるに之に窮屈なるやうの思を持たせては到底其心を十分に發達させ難し何事にも自由なる思を爲させ乍ら知らず〳〵ある內に善きに導くをば家庭敎育の秘術とはするなり故に父母は子供を叱り又は責るに餘り酷なる可らず大人に言ふ如き心得にて之を戒しめ又大人に望むべきやうの道德を之に望むは尤も愚なる虛僞と云ふべし

三○　敎育の一途ならざるより起る弊害　第一にも述べたる如く數多の人ともし〳〵に子供を敎ゆるは宜しからざることなるが唯だ父母の二人なりとも其の敎は常に一途なるを要す然らずして母親の戒しむるとき父は之を賞め父が叱るとき母が之をかばふなどの事あらば敎育の効能露もあらざるのみか子供は父母の一方を怨みて之に對するの愛薄うなるべし今の有樣を見るに此弊甚だ多きが如し(未完)

○物は言ひ樣　　小竹啓二郎

言辭は丁度人の心と心の間にかけたる傳信機の樣なる者なれば其思想を通じあひ用を便するが第一のものとなりされども其言樣によりて人を喜ばせたり怒らせたり哀ませたり嬉しがらせたり吃驚したり落膽させたり驚かせたり落付せたりするものなれば時を見人を見て其程々に言ひ廻はさねば思ひしことを辨ずることが出來ぬばかりならで却りて毛を吹き疵を求むる樣なる損があるものなりさりとて婦人の喋ましきは見苦しきとなりとて言はでかなはぬまでさしひかへ居ては大に何かの用の間にあはず況して目今水平線下に沈みし女子の位置の漸やく起らんとするときなれば今の女子たるものは彼の「女らし」と言ふ從來の卑屈心を去り普通の敎育を受け人の妻と成ては能く夫を助けて夫をして快く其事業に就かしめ內顧の憂なから

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

しむべし然れバとて又其極端に陷り餘りに出過ぎて才智ありげなるは宜しからず殊に他人に應接し又ハ夫を勵まし夫を諫め夫を慰むる時などには能く其時と其人の感情とを計り辭を出すべし昔し彼の道學に名高かりし蜷川新左衛門が夜な〳〵かくし女の許に通ひけれバ其妻さして怨みかこちもせで「蜷川の心の底の淺けれバ戀し〳〵の數ぞ見へける」と口ずさみけれバ新左衛門も感じて通ふことを止め。南北朝の世に二條爲朋卿北條の爲に囚へられ六波羅の北の坪にて非道の呵責にあはんとせられしとき紙と筆とを乞ひ「思ひきや我敷しまの道ならで浮世の事を問はるべしとは」と書付け玉ひしかバ掛りの役人も感じ入りて拷問をゆるし。平康頼が千本塔婆の「薩摩潟沖の小島につれはありと人にはつげよ八重の汐風」と云ふにて免るしを得。又朝鮮征伐の時諸將多くの虜を連れ歸りし中に七八歲の童兒ありけるが或時詩を賦して曰く「夢裡分明歸二故郷一雙親向レ我問二扶桑一華鯨樓上一聲曉、欹レ枕猶疑在二大唐一」と秀吉公之を憫れみ放ち還されしとかや若し蜷川の妻が夫の胸ぐらを捉へ御前ハまア〳〵と怨ぜしならば必ず夫の反動心を起さしむべく又爲朋卿や康頼朝鮮の童が怨恨の辭を吐きしならば必ず其幸は得難かりしなるべし夫つら〳〵世人の今まで交り親しかりし友どちの不和となり或は不和なるものが俄かに刎頸の交りをなし或は人の恩に感じ或は大に人を怨み又は夫婦の睦じきや口鬪常に絶へざるものなどハ色々の因はあれども又辭の言ひ樣にも因るなるべし故に婦女たるものは其對手の感情に適する樣に說話すと云ふ心得あらバ其利必ず多かるべし或る敎育家の言に「兒童を譴責するハ必ず其兒童の激昂せしときに於てす可らず其心沈靜に歸し思ひ穩なる時に懲戒すべし」と是等言辭を用ゐるの時を知れる者と云ふべし

○束髮圖解　（六）

渡邊鼎

(夜會結び)此束髮の結び方は先づ渡邊卷の如く中剃の邊にて根元を打紐又は元結にて結びこの毛を先づ預め六個又は七個に分け其分けたる髮毛を一個づゝ其末端より兩手の示指にてぐる〳〵卷き圓るめて横長き輪管樣のものを造り之を根元の周圍に置きてヘアピンにて留むべし如此く根元の周圍に横長き髮毛の輪を六個程幷列せしむると恰も梅花の形の如くなし最後の一個を根元の中央に置きて之をまたヘアピンにて留るなり

元來夜會(舞踏會)の節などは婦人は帽子を戴かざるものなり此際には是の夜會結を用ゆるもの多きが故に之を予は夜會結

と名けたれども元と此の結び方は佛國式にして近頃夜會の節に用ゆる結び方あり而して英語にて之をヘーアパッフと云ふ過日鹿鳴館の夜會には束髪の婦人方百四十餘名も會せられたる由なれども其内帽子を戴かざる婦人方は四十名程にて他の

百名許は皆な帽子を戴き居られたる由なるが元來夜會の時に限り西洋にては帽子を戴かざるが一般の習なれば我邦にて強て之を看做ふには及ばざれども容易に出來ることならば又之に倣ふも敢て無益にあらざるべし左ればこの夜會結は極めて容易なるものにして一見すれば何人にても容易に結び得るものなれば夜會の節などに用ひらるゝも宜しかるべし然し夜會の節は必ずこの風を要するにもあらねば好み玉はざる貴婦人方は御用ひなきとも可なるべし殊に西洋の婦人方にても年幼き貴女方には用ひ玉へど中には用ひざる婦人も多く見受ることなり

尚ほ此夜會結を結ぶには洗ひ髪に少しく香油をつけたる程の時に最もよく出來るなりされば之を結ぶ前日には能く髪毛を洗ひ置きて結ぶをよしとす而して此結び方は夜會には隨分きらく／＼しく美しう見ゆるものなり

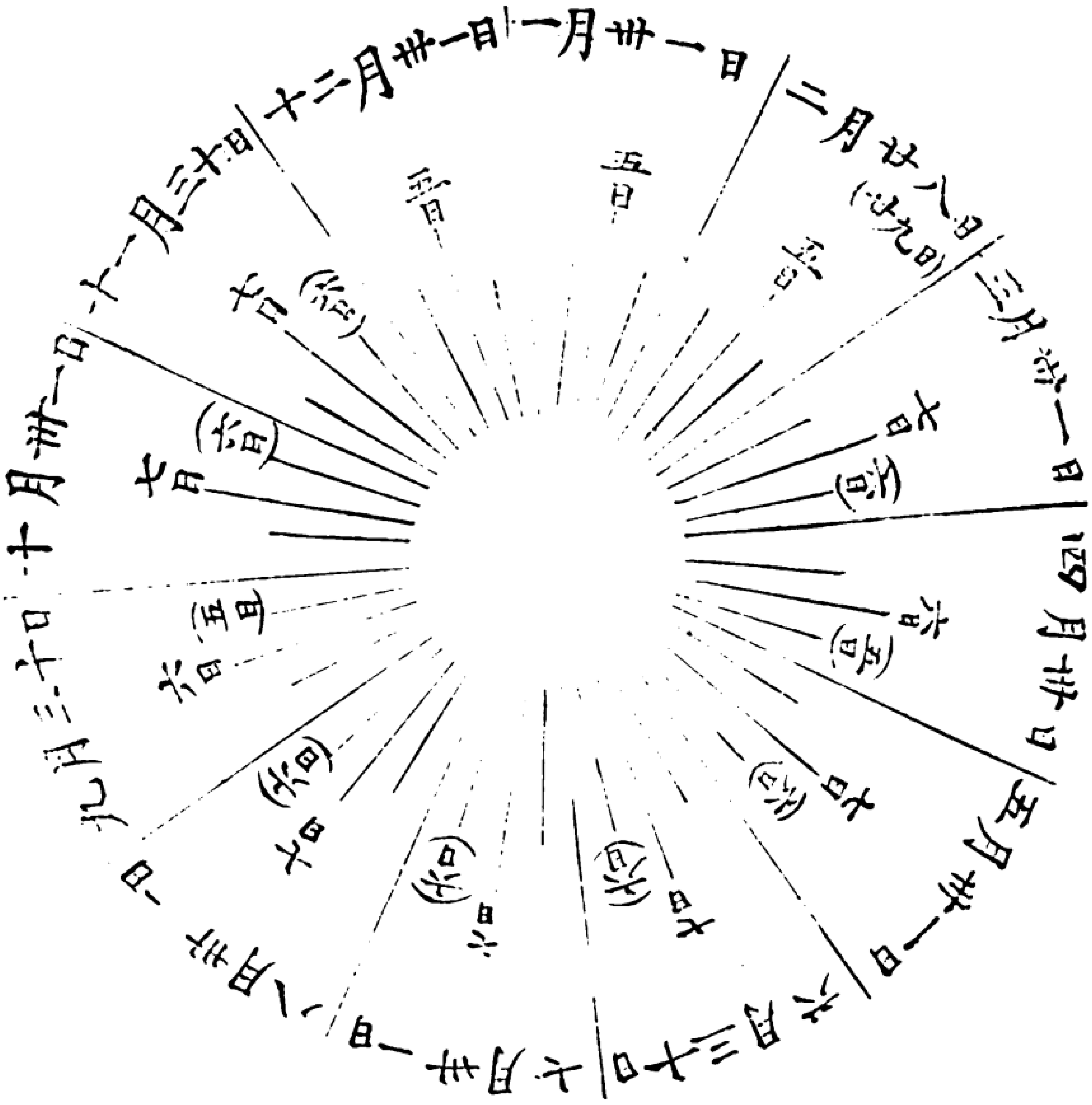
○出産の期日を知る法

左は社友船越鼎太郎君が近著なる産婦小兒攝生法の中より抄出して惠送ありたるものなり曩に此事に關する質問もありたれば玆に之を掲ぐ

其法は最後に月經を見たる日より二百八十日先に進みて算用すれば遂に分娩する期日を知ることを得べし然れども月に大小あり或は閏月ありて之を算用すると頗る繁雜なり故に今姙娠暦をかゝげ其繁雜を除かんとす此暦に由て出産の日を知らんとすれば先づ最後に月經を見たる月日を知り而して此月を

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

外き先に九ヶ月を算へ（一月なれバ二月より九ヶ月算用するが如し）その算へたる月に於て最後に來たりし月經の日を認め置き之に表中に記載せる日を加ふべし如斯にして得たる所



閏年にハ○の中にある日を以て算ふべし

の日は則ち分娩すべき日なり例へば一月八日を最后に月經を見たる日とすれバ同年十月八日と認め置き之に表中に記しある所の七日を加ふべし然るときは十月十五日とあるべし此の十月十五日は即ち分娩すべき當日なり又十月三十日を最後に月經を見たる日とすれバ翌年七月三十日を認め置き之に表中の七日を加ふれバ即ち分娩は翌年八月六日たるを知るべし

○批評（第十四回）

(14)、產婦小兒攝生法　中本一冊（四十三頁）　定價十八錢

此書は船越鼎太郎君の著述にして弊社より出版したるものなり當今產婦小兒の養生法に關する書類尠きにあらずと雖も多くは高尚にして實用に難く然らざるも文章讀み易からずして婦女子の用に適せざるとあり此書は專ら玆に意を注ぎ文を平易にして悉く假名を附し成るべく卑近の事に就て教を說きたり然れども素と弊社に於て出版したる者なれバ吾人は之を批評するの地を有せず是非の評判は一に之を讀者に委し著者と弊社とは喜んで其言を請くべし故に今たヾ其目錄の概略を左に附記す曰く第一章、月經の事。第二章、姙娠たるを知る法。第三章、出產の期日を知る法。第四章、姙娠中の攝生法。第五章、分娩期中の攝生法。第六章、產後の攝生法。第七章、初生兒の所置。第八章、哺乳期中の攝生法。第九章、生母の乳汁を用ひずして乳兒の養育法等あり

論説

○女流の戰爭(二)

博言學士　イーストレーキ

又數多の信ずべき證據に據て之を見にワイオミン領の人民は過る十七年間の經驗により更につよく女子が參政の事を好としたり其地方の新聞紙中に云く女子が陪審官の坐席及び投票場内に其位置を占めたる以來の如く未だ曾てよく法律を敬重し之を實行し罪惡を罰し財産生命を保護したるとあらずと。又ワシントン領は千八百八十三年に於て初めて女子に參政の權を附與したるものなりその領内に關する證據に出て之を見るも亦た之と同樣の跡あり

亞米利加合衆國内の十二州に於ては皆女子に學校事務に參與するの權を附與せり其内或は只だ學校委員を投票するの權を附與し或は又公立學校に關する諸事務に對して投票するの權を附與し尚且つ地方及び州内の學務長となり得べき權限を之に附與したる所あり。然るに女子のよく適當せるとは合衆國中に於て強き承認を得たり。故に女子にして地方の書記、勞濟の記錄掛、年貢役、牢獄委員、書籍館員、貧人監督者、學校監督、學校長、館地の管理人、保管人及び番人、州法官の專務書記、州立女牢の監督者、中學の役員及び教授、其外州立の慈善局癲狂院懲治檻等の委員に撰舉せられ若くは指命さるゝもの甚多し而して此等の婦人と共に其職務に參與せる男子等は皆な婦人がよく其義務に對して實際の才智と德行とを現はせるとを十分に承認したりと云へり

又女子にして計算者、簿記掛、醫師、外科醫、畫工、彫刻者、建築師、著者、記者、書記、代言人となれるものあり。何れも州の法庭に於て實際法務に從事するの許可を得たる者は亦合衆國高等法院の法庭に出席して代言するの權を有せり。又大統領グラントは郵便事務所の役員に五千人の女子を用たり。ニウハムプシアの代議士ブレールは國會に於て辯じて云ふ數多の女子は政府の諸事務に從事し切要なる職務及び信任に應じて採用さるゝと雖も委員の知れる限りは未だ曾て無能若くは惡行等の非難を蒙りたるものあらざるが如しとマッサチウセッツのウイリアムボウチッチ君足下は云ふ之に反し女子に五倍するの男兒は今懲治檻にあり女子に五倍以上せる男子は今牢獄にあり女子に二倍以上なる男子は貧人なり又七十倍の男子はかの貧窮と罪惡とを養成すべき酒類の製造と販賣とに從事せり抑男子は酒を飲み女子は之が

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

爲に苦しむもの也而して今ま男子參政の決果として吾等は年々敎育費に六倍するの入用を飮酒の爲に消費せり故に吾等は切ては人類を動物となし了すべき飮酒の入用をわげてかの敎育費に用ゆるに至らんが爲に賢くも女流の投票に依りて助力を乞ふとを爲すを得ざる乎

吾輩此等の實事を知ると共に今尤も文明の國民と稱するものにして「尙ほその不正なる法律を以て女子を抑壓し輕蔑する」を知るは驚くべきとあり。合衆國の多くに於ては法律上の妻及び母は自己の獲たるものに對して財產權を有せず父その幼兒に對して權力を有すると能はず法庭に於て否決せざる限りは夫及び父たるものに於て此等の權を有するあり。千八百七十九年に至るまでマッサチウセッツ州に於ては妻の衣服はたとひ妻一己に於て獲たる金を以て買たるものと雖もその所有權は尙ほ夫の手に屬したり。ギッボンが何れの時代と國土とを論ぜず兩性中の强きもの(男子)國の權を奪ひて弱きもの(女子)にはたゞ家內の調理と快樂とを與へたりと云へるは知言と云ふべき也

婦女參政の事は旣によく初りたりかの男子を基礎となし男子の造り成したる開化は凡そ人世に最良最久あるべき何事をも悉く具備せりと信ずるが如きは旣に古代の誤謬に屬す今日に於て尙ほ之を信ずるは實に非常なる失錯と云ふべし。上に引抄したる證據によってこれを見れば婦女は一國民中實に最好に且つ堅實なるものあるを知るべし。然れどもリパーモア夫人の言へる如く此れ決して男女優劣の證となすべからず。蓋し男女は一方に欠くる所の性質を互に具備す故に一は他の補充となるべく到底互に相欠く可らざるものなり

詩あり云く。女は育たぬ男かは、男となさば人めづる、優なる愛は失せぬべし、たゞ彼是の交際は、共に同じきゆゑならで、逢ふ間の似れバなるらん

●佳傳

○チェローニス孝貞を全せし美談

昔し兄の反逆に加黨せよと迫られて膝に眠らせ奉る　皇帝の御夢を破り忠友兩ながら立ちがたしとて遂に火中に身を殺したる后の上は其志や實に憐れむべし其行に至りては尙足らざる所ありと云ふべし凡そ世に道と申すは唯一なり父に對して孝となり夫に對して貞となり君に對して忠となる此の倫理のかれこれ矛盾して兩ながら全ふし得まじきやうの場合あると

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

もかの孝は守るべし忠は行ふべし貞も亦心限り盡すべしと云へる大元の道は即ち眞理と云へる唯一の標準によりて出來る敎なれば人若し此標準にし從はゞ孝ならずと見ゆるものも眞の孝にして忠ならずと思はるゝも眞の忠となる倫理の彼此矛盾すべき謂れ決してある可らず之に依て觀れば彼の后の行ひは忠も貞も無みしたるものにて小松の少將は其實忠孝を兩全したり大凡そ浮世の波にたゞよひて彼是の判斷に迷ふものは皆なかの眞理と云へる善惡の標準を以て之を決すべきなり

希臘列國の中にスパルタと云へる尙武の國ありて玆に昔しレヲニダスと云へる名高き君ありけり其行の宜しからざることも多かりしなれば人の怨を受ること尠からず中に就きリサンダーと云へる民選の彈劾官は如何にもして之を其位より退かせんとて機を窺ひたり然るに此國の風として九年に一回星を占ひて時政の善惡をトする古法あり其年は月なくして天よく霽れたる或夜を撰み彈劾官たるもの終夜天を望みて星を占ふなり此際もし流れ星ありて空を渡らんには神々が時の政を怒り玉ふ御兆と覺えて直ちに當時の王を廢しデルヒ又はヲリムピアの祠に託宣ありて之を王位に復せよとの神意あらざらんには永久其位を奪ひ取りて顧みざるを定としたり左ればリサンダーは此を利して或年かゝる神怒の星を見たりと觸れ知らし王は國禁を犯して亞細亞の女を娶りたるの疑あり神々の御怒は定めて此樣の罪を罰し玉ふにやあらんと申して王を法庭に召び出し加之兼て王の娘を娶りたるクレヲムブロータスを慫慂して此際王の位を奪はせんとしたればレヲニダスは特の外恐懼してミネルバの堂に退き政廳の召出に應ぜずして遂にアジアに逃れぬされば王は自ら其位を棄てたるものと見做されてクレヲムブロータス之に代りリサンダー多年の謀計は全く成就したり

然るにクレヲムブロータスの妻チエローニスは父が逐はれて夫の位に登るを見ては身内后の間にはさまれて躰の置處なきが如し何如に處置して其分を盡さばやと思ふに父は昨日の榮與を何出の秋風に吹拂はるゝやら奪ひ去られて今は身を安ずべき地だもあらず日頃仲睦じき若夫は赫々の錦衣に珍寳袖の下にうづもり富貴あれば得て心のまゝと云へど之と共に樂を分つべき折にはあらず暫し迷にかひくれたるが屹と心を定めて夫の許を逃れ父の膝下にかひそひて何くれとなう介抱したり然るに年立ちて民心再びレヲニダスに歸し人々之をアジア

に迎へてスパルタの都に案内し歸りぬ此時レチユダスの眼中にはクレチムブロータス頭の敵となりぬ人のなだめは物かハ彼の日頃われを慰めたる愛娘のわび言も其の深く根ざしたる怨恨を去るに甲斐なしクレチムブロータスは遂に追放の刑とハ定められぬ此時チエローニスハ夫の傍にそひて二人の子を左右に伴ひたるが哀れの姿よふり亂したる髮をかきわけ作ら父レチユダスに申すやう

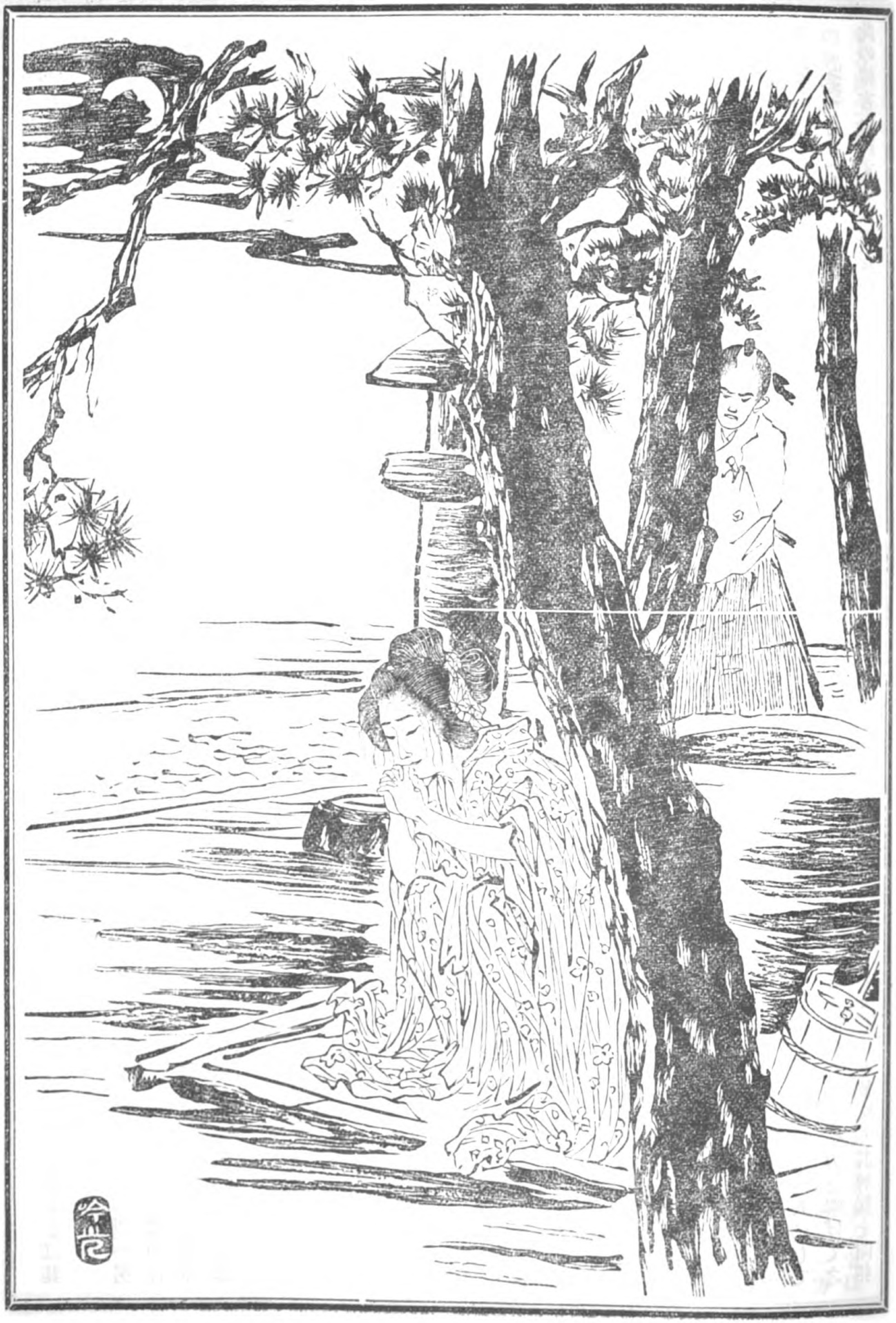
父上わが身が斯く衰へて哀れ氣なるハクレチムブロータスの故なりとハ思し玉ふな去ぬる時父上不幸の追放と定り玉ひし日より此の衰へと哀みとハ吾身に屬けるものとハなり候ぞや今まあなたは敵に打勝ちて再びスパルタ國の王となり玉ひたれば吾身は此より此哀を棄てゝ華美なる飾に身をよそひ王の宴會に臨みて樂を取り候ハんか父上が吾が身よ賜ハりし幼きよりの夫は今まあなたの御怨の牲となりて斯くわらせらるゝを何如で顧みで過し得申さん父上よ若し吾夫の從順とその妻や子の涙まで皆なあなたの御心を和め得ずバ彼はあなたの授け玉ふ罰よりも更に甚しき苦みを受け候ハん盖ハ彼の妻ハ今ま目前にて死し候べし吾身ハ夫をなだめ得で父を不幸に追放させ今また父に聽かれて夫を追放させなば此後何面目に世の婦女子を見候べき妻となり娘となり只だ人の悲をまさせんとて吾身は此世にや生れたる父上よ此哀れなる吾夫ハ其爲せし行には多少の言譯をも申せしが吾身は之をすゝめて只だ父上には從ハせぬ然るにあなたハ義子は化し娘ハ聽かれずとも王の冠の價は斯る物事の價ならずと云ひ玉ハバ吾夫は其行の言譯に彌よ大なる辯護を保ち候べし

チエローニスは斯く言ひ終りて其頬を夫の頭にひしと着け作ら哀みにうるみたる眼をもて傍を見まハしぬレチユダスは暫し臣下と評議したれど其の頑なる心はなか〱に解くるやうなし彌よクレチムブロータスを追放せよ早や追立てよと命じ作ら吾娘は之に伴ふ可らず汝が斯く久しく慰めたる此の老父の傍に止るべしと言へどチエローニス豈に之をきくべき一人の子をかひ抱きて一人を左手に手引作り暫し御前に默禮し屠所行く夫の後にそひぬ昨日まで錦衣玉冠に身を輝かせしクレチムブロータス今は哀れに身を落とし當途定めぬ遠島へと住みし都を出で立ちぬ然れど斯る貞節の妻なくて浮雲の如き榮華を受んより妻子ともゞの道連は幾千倍の樂ぞやチエローニスこそ女の鑑なれ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

○松蔭佳人傳（第六回）

家里新太郎は大坂の紀州屋敷に着して紀伊大納言に目見へ奉り御杯など頂きて後ち當今の形勢を聽え上げ已が存ふるまゝをも言上しければ多くも經ざる内に小浦惣内と云へる藩士を伴ひ江戸表に下向して使命を奉るべき重役を仰せ付けられぬ頃は安政の五年にて藤田東湖は向島に蟄居し賴三樹世古格太郎等は馬喰町の上り屋に繋され居たり新太郎は惣内と共に登城したるに井伊掃部頭台命により御名代として之に接しぬ此度の使者の趣意一承らんとあるに新太郎ハット頭を擡げて憚らず這般主人大納言深く時勢を憂ひ事の紛議を解んがため密かに私共を使者として言上致す其事は此頃京都には關內の諸大名何となく浪士を集め徒黨を催し暗に御當家に害心を抱くの企あり万一事の難儀に及ばゝ何如にせん民を塗炭に陷る事やあるべきと憚らはれ敢て申出らるゝ聞き一段かゝる諸侯等を態と御指圖なさせられ候て密意を承け居る浪人共を御放免あり暫時彼等に禄を與へ穩便にして自然と又彼等を扶持し玉はんには恩に依り義に感じ遂には御當家の万歳を祝らん事目前なりたれば其等を斟酌せられ宜きに御評議あらせ玉へと述るにぞ掃部頭は家里が爽快の辨を感じ委細承はり置とまでにて惣内は暫時止るやう家里は早や退てよとありサナハ智深き掃部頭わが計略をさぐるよと思へど靜々退き出てぬ斯て後ち兩三夜掃部頭の私邸え伺候しほど／＼其説をも述べたれば謀略十分に成就せりとは思びぬ此間にも馬喰町の獄吏へ金を贈り賴世古等を優待さするやう持てなしおどし使命を畢へて大坂へは歸りぬ。家里使命を全ふして首尾よう歸朝したれば大納言特の外滿足に思し召し御覺目に深く其威勢日の登る如くなれば今は之を羨む者ぞ多かり然れど彼の安岡村田の二人は益す深く之を怒り何如にもして之を暗殺せばやと忍び／＼に窺ひけり　彼の坂本龍馬は京都に來りて此事をきゝ斯ても家里の變心は奇怪なり吉田實を據さんとて或日役所の者と僞り新太郎を或る茶屋に招きたり新太郎は何氣なく來りて襖を開くやいなや龍馬は一刀を拔く手も見せず切て掛る此は坂本何故ぞ、何故とは汝の事一男子にして盟を破る卑劣の根性切ては吾刀の汚と謂よ、偖は隙間なく切り迫るを身をかはし乍ら待て坂本餘にはいふ可らざる吾本志悄く汝に明かすべしとて其後はたゞ靜かに物語りぬ。斯て新太郎は茶屋を出て夜近く祇園の森を過る時十八の明月樹より洩りて光あちこちを跡するに小女が水を被りて何やらん祈願する姿を見とめぬ



寄書

○婦人をして政務に參與せしむべからざる説

（ベルギー國刊行インデペンデンス新聞抄譯）

在本鄕　素巖生　譯

婦人に男子と同じく政權を與ふ可しとは今日英國に於て學士論客の間に行はるゝ議論なり既に此事に關しては國會の議案となり其會議に附せられ多くの議員は堂々辯を振ふて婦人に投票權を附し政治社會に大改革を斷行するの急務たるを痛論せし事蓋し其幾回なるを知らざるなり

社會の輿論已に斯の如き傾嚮なるに際し他の一方に獨立して此の議論に反對を試み固く自ら學理に依て其説を主張し婦人參政論をして社會に其跡無からしめんと熱心せらるゝ人あり是れ即ち「ドクトル、ヴザールスムーア」氏なり氏は「ブリングトル」に設立せる英國衛生會の議長なり氏は婦人參政論に對して一篇の意見書を著し其中ニ廣言して若し婦人ニして一旦其の身を政治の事務に委ぬるに至りては後來社會に生ずる患害實に計るべからず婦人にして政權に干渉するは男子の事業の範圍内に侵入して劃然たる事務分界を紊る者なり古來今日に至る迄男子は事務上に於て尤も勞力を要する者尤も苦辛を感ずるもの及び尤も責任の至大なるものを負擔し婦女子は家居して庖廚を修理し家事を整頓せしめ又其人を輔翼し其勞苦を慰むる等の如き皆な安逸なる業に從事すべきなり故に學士「オセロー」の謂しとあり

She loved me for the dangers I had passed
And I loved her that She did pity them.

此の格言を譯するに婦女の男子を信愛するは其の執る處の事務の困難なるを慰藉せんが爲めなり又我が彼れを愛するは其よく吾難業を憂ひて情を同ふするに依りてなり

もし婦人にして其難業を認めし事務に當り能く之れに堪へ男子と是非曲直を問難詰責するに至る時は知らず／＼不遜の性質を養成し從て男子の女子を親愛するの念を減ぜしめ女子亦た男子に順從貞操なるとなく現時行はるゝ男女交際の美風は地を拂ふの有樣に至るべし

次ぎに婦人の躰格上に付て論ぜんに婦女子をして政權に參與せしむるは其の固有の職務を妨害する事尤も甚だしき者なり固有の職務とは何ぞや曰く天の人類に賦與するところにして地球上に人種を繁殖せしむる處の者なり夫れ婦人の智識益々進歩する時は從て子を孕む事漸々少なきに至るは確然たる事實なればなり

加之のみならず尤も注目すべきとは從來俊傑の士社會に顯はれし事一に母の教育如何に依らざるとなし見よ有名なる哲學者「ベーコン」「コンドセル」植物學者「ビュボン」生理學者「キュヴィエ」算學者「アランベール」等の如き皆な其の母たる者の教育如何によりて其學を遂げ名を成したる者なり又た日耳曼の有名なる詩家「ゲーテ」（Goethe）氏は自傳を作りて其中に言つて曰く我が才識は全く母の賜なりと若しも上述諸氏の母にして教育を怠るに於ては決して此の俊才を養成し能はざるなり右諸氏の母は一も政權に參與せし人に非ず一身を其本分たる一家を整理すると其子の教育に委ねし處の人なり故に婦人にして參政の權を得ば其の事務の繁劇多忙なるより全力を擧げて之れを其子の教育に費す能はずして其子を放棄し其智腦を開拓

するに怠るは實に避くべからざるの事實なりとす是故に婦人の智識發達すると政務に參與するとは人類社會一般に智力の衰頽を來すのみならず人間の體格を非常に薄弱ならしむる者とす

スペンサー氏は此の道理を其の著書生理學の原則に揭げて言へる事あり曰く腦髓を過度に使用するは尤も肢體を過度に使用し非常なる疲勞を來たすと同じく婦人をして子を孕生するに適せざらしむと而して婦人をして政務に參與せしめんには男子と同等の智力を有せざるべからずもし男子と同等の智力を有せしめんには婦人に適せざる高等の教育を男子と共に授けざるべからず高等教育を授くるに於ては其の孕生を妨害せざるべからざるなり余は今此の事に付て尤も適切なる譬例を擧げんに婦女子の高等教育を受くるの弊害は獨り人類を世界に繁殖すと云ふの一事に止まらずして現今生存する處の人類をして漸〻減却せしむる事を云ふなり今ま亞米利加にありし事實を以てこれを證せんに妙齡の女子にて學術優等なる者は大半成年の後子を孕む事稀れなり如何んとなれば智育の一方に偏する時は大に身體の健全を害ふを以てなりドクトル、クラーク氏は亞米利加合衆國の人なるが斷言して曰く亞米利加の女學校に於て常に優等なる地位を占め學業拔群なる者はこと〲く身體虛弱ならざるはなし若し此の勢をして駸〻進んで止まざらしめば今より五十年を經過せずして亞米利加州中一の母たる者を見ざるべし如何となれば婦女子悉く智育の一方に偏し子を孕むの力を失へばなり是に至らば米國の男子は歐洲の婦女子を新婦として迎ふるの必要を感ずるに至るべしと亞米利加の醫師にして常に婦人の疾病を診察する者は一人として此の說に不同意を表するものなし「ドクトル」「ヴィザァールス、ムーア」氏が此新說は早くも亞米利加に傳播して同地に於て大に喝采を博せるのみならず大に一般の感情を惹起せりと云ふ

〇開校式祝詞

左は去月廿四日青山小學校開校の折助教艶子が朗讀ありたるものゝ由なり

三角艶子

木々の緑も昨日今日　時雨に色のつき初めて　山又山は紅の　錦の衣を粧ひぬ　蘿ににほふしら菊は
天つ星歟とまがうまで　いたゝく露の玉くしけ　二ッ三ッ四ッいつまでも　盛の色をあらはせり　あな玄こはしそも今日は
我新なる開校の　式擧け玉ふ日なりかし。　今我國の有様は　學の道の日に月に　進み開けて天ッ日の
照らん限はいつこにも　千嶋のおくも沖繩も　文讀む聲ぞ聞ゆなる　まして都は大學や　中學専門其外の
學校いとゝ多にして　學生々徒の其數は　天てる星の限なき　數よりもまして群れり。　されと夫〻専門の
學校にては理化の學　或は法律經濟と　一ッ一ッを學び得て　家を興しつ名を擧けて　み國の爲に盡さんと

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

勉め勵める者あれは　商業修むる其人へ　理學化學のそれあどは　學へぬとても濟ならん　醫術を學ふ學生ハ
工學部には入らざらん。　そも小學は幼兒の　貴き賤きへだてあく　六ッ七ッの齡より　十あまり五ッの頃までの
長き月日の其間　敎受くへき處あり　されは此世に生れ來し　人は後には專門の　學びの窓は異れど
其初しも學する　時には雖然小學の　敎を受けぬ者あらん。　外國々と交りて　後れを取らず其國の
光を遠く輝す　ビスマーク氏や萬國を　四ッの蹄にふみなせし　ナポーレオンの英雄も　皆一度は小學の
學の兒にてありしかし　專門修むる學校の　階梯たるべき小學の　衰へあから文明の　進まんとは覺束あ。
嗟呼幼兒は春の日に　やゝ前へ出る若葉ぞよ　これを養ひ損はず　そだてく\て葉は茂り　花咲くまでにしあぐべき
地所は即小學の　學の園是あらん　もし小學の園あく　護り育つる主あくば　めでたき蕾ありとても
あどかくまてに美しき　白菊の花にほふべき。　今我校は新しく　染き成りたる喜は　譬へん方もあきよみの
甲斐あきおのが淺學も　此後ますく\勵みつゝ　花の蕾をもり育て　み國の爲に盡さんと　思ふ心の赤阪を
祈ひ祝して此校の　いや長へに天地の　わらん限は千萬の　濱の眞砂の數よりも。　倘多きまで我畑に
そだてし人の名を擧て　世にもめでたき花かつら　結ひ玉ひて紅葉の　今日の錦を後の日の　衣に染めて大君の
御爲に盡し玉はんと　見あんとこそ願はるれ　今日の賀に逢ふの　飾あければ賤しかる　身をも忘はてふつゝかの
思ひしまゝを詠出て丶。

背山の今日の若木も紅葉の錦をいつか織出すらん

●寄書　前號の外。伊勢多氣郡八木戶村小林啓二郎氏の文、備中高梁一女子の問答正に落手何れも後に記載すべし

●新報

○理學の解釋　前號の社說に揭げたる女子と理學と云へる論文には初段に諸の學術を擧げて少しく其解釋をも附したり固とこれ理學と云へる者の概畧を示さんためにて論の主旨には切要の關係なきものなれば解釋の不十分なるは勿論倘ほ茲に擧げずして止めたるもありしとあり然るに斯ては理學の味を覺

らするに効なし特に斯く淡泊に學術を解釋しては人を誤まらすの過ちもあらんとて神保小虎君(理科大學地質科生)はわざ〳〵左の解釋を記し惠贈されぬ讀者若し之に依りて理學の一班を推知し此の愉快なる學問に心を傾け玉ふの便ともならバ啻に吾等の幸にはあらざる也

地質學(Geology.)は地球創製より今日に至る迄地球幷に地球上生物の變化、其變化の原因、地球の構造、地球表面の形状等を研窮し地球に關する自然の理を明にす

金石學(Mineralogy.)は諸礦物(Mineral.)の類別、物理的幷よ化學的の諸性質等を研窮し金石の自然の理を明にす

動物學(Zoology.)は動物の構造、生理、類別、發育、頒布を研窮し動物の自然の理を明にす

植物學(Botany.)は植物の構造、生理、類別、發育、頒布を研窮し植物の自然の理を明にす

且つ同君の說に理學は自然の理を研窮するものにて應用を主とせず。又た鑛山採金の方を考ふるには金石學、地質學、等の理を應用し器械學を以て之を實行するものなれば吾人が前號に述べたるは畧に過るとの事なり。因て何れも茲に其儘を記載して同君の好意を謝し尚ほ地質學上の面白き事物に對し向後時々同君より說話を寄せらるゝとの約を得たり

○ノルマントン事件に對する婦人の感想(二)　前號に記したる後ち尚ほ婦女子にして義捐なしたまふ方々も多き中に横濱山手のフェリス女學校生徒教員七十餘名よりは同港の振商會員が此事件を外國新聞より報道ある入費に對し金十七圓五十錢を寄せられ。東京婦女學校會員十九名より金三圓八十錢を遺族者義捐金に。栃木縣中學校女生徒廿三名より同じく二圓卅錢。東京レース傳習所女生徒廿三名より三圓十錢。仙台婦人談話會より同じく三圓を寄附あり。又女義太夫中東玉、熊玉、京枝其外の連中は去一日より三日間兩國新柳亭に溺死者遺族救助の爲め淨瑠理を催したり尤も此間火鉢煙草盆等は無料なりと云へり

○女學校　駿河臺北甲賀町六番地の敬愛學舍は去月より大に規則を改正し教科を本科別科の二つに分ち英漢數學はもとより和洋の裁縫、國語學、簿記、習字、等をも別科として專門に教授するの制となされぬ與に學資兼備れる良校と云ふべし。京橋英語學校にては今度婦女子の爲め別科を設け英語及び編物を教授さる。築地新榮町七丁目中三十八番にては七歳より十二才に至る女兒を預り洋風に敎育する制を立たり。東京府下

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

の小學にて女兒を專ら教育する所は小川女學、常盤女學、築地女學、櫻田女學、江東女學、坂本女學の六校あるよし

○婦人用の帽子　婦人の洋服も追々流行する折柄此程婦人用の帽子横濱に着荷せしに日本橋の白木屋洋服店にて逸早く一手に殘らず買取たる趣あるが色地は紺、茶、鼠等にて代價は一個三圓より七圓位迄なりと（右二件十一月二十六日報知新聞）

○婦人の洋服地　是迄婦人の洋服地は多くは舶來品のみを用ひ來りし處京都西陣織物の竹和嘉兵衛氏は新に緞子の洋服地を織出し此程上京して外國人の品評を乞ひしに頗る其稱贊を得しかば愈よ今度京橋區山下町の平野商店にて右洋服地を賣捌く由あり其價は幅二尺三寸にて一ヤール一圓七十錢より二圓八十錢迄なりと

○婦人洋食會　高木海軍々醫總監外數名は我國の婦人中兎角洋食を嫌ふものありて内外人交際の障き今日に在りては不都合ありとて今度海軍々醫の妻女姉妹等有志の婦人を集め毎月兩三回づゝ洋食會を催ふすとに決したるよし

○前橋婦人會　上州前橋の有志婦人には題號の如き會を設け既に去る廿四日第一回を開きしに會員七十餘名の出席あり河野群馬縣書記官も之れに臨みて演説し頗る盛會ありし同會は其處世交際の要法を講習し務めて之れを實行するの目的に出で毎月第一及び第三の土曜日に開會し毎會有識の人を聘して禮法、教育、衛生、家事、經濟、等すべて婦人の地位を高尚ならしむる演説談話等を依頼し或は質問を爲し且毎會毛糸編物等婦人に適する職業を講習す、會員は諸事質素を旨とし虚飾を戒しむべし、會費は毎會金五錢、男子は招待せし人及び會員同伴の外は一切來會を謝絶する等の規約ありと云ふ又た會員中此度のノルマントン號沈沒の際溺死せし遺族へそれ〴〵義捐をなし上野新報社へ托して之を貴社へ送りたりと云ふと毎日新聞に見ゆ

○婦人記音學會　記音學會長濱網紀氏に就て記音學を學び得たる婦人松岡花子外數婦人が今度上京廿二組東三本木上井筒方に於て婦人記音學會を起すとか去十一日の中外電報に見ゆ

○婦人愛憐會　京都の同會は共もに基督教信仰の婦人より成立つものあるが同會員には自ら製造したる編物及び其他の品々を寺町通夷川に持寄り五日間の見込にて去月一日より賣出せり其の代金は學校傳道及び看病婦學校へ寄附する筈なりと云ふ

○看病婦への寄贈品　東京府下避病院看病人慰勞として私立

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

衛生會の發議により有志者より金を募集せられ芝、本所、駒込、坂本、大久保、の五ヶ所にある各避病院の看護婦へ雙子織手拭紙鷄卵其他の物品を寄送ありたるが寄贈品中の手拭には左の新躰歌を染形にしたりと云ふ

つとめつとめよ看病婦、看護の道をつとむべし、看護つくして清潔と、せうどく豫防に心せよ、こゝろをくせずまめやかに、病者のうきを慰めて、まことをつくし看護せよ、誠をつくすてきばへは、人をもたすけおのがみの、こよなき譽れとなるぞかし、つとめよ〳〵看病婦、

消毒掃除怠らず、厚く病者をあつかひて、汝がてがらを顯すは、今この時にあるぞかし、不實をなさばとつ國の、慈善の人にわらわれん、消毒掃除看護まで、注意の上に注意せよ、國の光りも輝きて、わが身にほまれもうくるべし、

傳染し易きやまひでも、豫防のみちは醫師が知る、醫師の敎に從ひて、ようじんけんご身を守り、おとこぎだして病人の、うきをなぐさめ看護せよ、徒に病をおそるゝな、さりとて油斷は大敵ぞ、

みがけみがけよ慈善心、金銀珠玉のたからより、たふときものは慈善なり、つとめよつとめよ看護方、傳染しやすき病者をば、いとふとなくしんせつに、あつかふ人はたからなり、貴き心をもてるなり、つとめみがきていやましに、光りあられせ看護人、

はげめはげめよ看病婦、手がらあらわせ此の時に、醫士のさしづを能く守り、みだりにおそれて退くな、おそるゝとなく油斷せず、豫防の道を盡すべし、消毒掃除に手ぬけなく、病者のうきを慰めて、はやく全快せしめんと、はげめはげめよ看病婦、

また有志者より寄附金の總高は金六百四十五圓九拾錢なりとの由衛生會雜誌第四十二號に見ゆ

○大坂産婆講習所設置　從來同府下にて産婆業を營む者は多くは無學無識にして手術に未熟なるより間〻母子共に生命を亡失せしむるの恐あるを以て大坂府立病院の一等敎諭管沼貞吉氏は太く此事を歎き此程産婆心得あるものを蒐し婆産講習所を設置し從來の産婆業を改良したき旨府知事へ建議せし事ありしが今度東區淡路町五丁目に設立せし胞衣取扱所及び其事務所は最も産婆に親密なる關係あるものなれば同氏及び平田衛生課長が去廿日午後二時より同所へ出張し四區内産婆の特志者を招待し右講習所設置の事を談ぜられし處何れも賛成

を表せしに付き不日講習所を設置する都合ありとぞ又右設置の上は菅沼氏が出張して毎金曜日に産科に關する講義をせらるゝと大坂日報に見ゆ

○女生徒洋服　山梨縣甲府錦町の徽典館の女生徒は悉く洋服に改められ又府下蠑光町の有馬小學校女生徒五級以上も此度凡べて洋服に改めらるゝよしに聞く

○大坂女兒の弊風　大坂にては女子とさへ云ば三味線の舞の跳のと稽古さすれは其親は總て立派なる教育を授けし様思ひ讀書習字算術などの如き女子に必要なる教育はすべて嫌ふ様なる有様なるは吾等がつとに歎く所なりしが今度大坂府立女學校にて百名の入學生を募りしに志願者は僅かに十四五名なりしと教育新志に見ゆ

○女教師唱歌の効用を說く　下野教育會に於て同縣下那須郡黒羽學校の女教員大野うの女史の發議にて唱歌を尋常小學校に實行するの必要を說かれ遂に其議に決せしが其論の大意に云ふ寒村僻落には唱歌を要せずと云ふは是れ却て實際に暗きものにて邊部の地は其風俗一般に野鄙猥褻なれば草刈歌、麥搗歌など實に聞くに堪へざるもの兒童の口に上るを常とす故に是を改良せんには高尚なる唱歌を以てせずんばあるべからず故に本員は唱歌教授を實行せしが大に人々より非難を受けたり然るに當夏コレラ流行の時教育時論てふ雜誌に豫防の歌ありしを兒童に教へしに大に喜び悉く暗記して之れを唱へ廻りしにより人々攝生豫防に注意を引起すゝ至れりと教育時論に見ゆ

○九州中の島の婦人　中の島は鹿兒島の西南七十五里に位し内地との往來頻繁なるを以て内地より嫁し來るもの罕に之あり島民概して朴直頑陋なりと雖も稍々内地の風に化する者多し女は古來十三歳に至れば村中一人を撰びて一度之に染齒を依賴し之を鐵親と名け其後は人に嫁すると否らざるとに拘はらず總て齒を涅せず又眉を拂はざるの慣習なり然れども内地より嫁し來る者に倣ひて稀に齒を染むる者あり其衣服裝飾は日之嶋と名づくる嶋嶼の婦人に類す而して其言語は鹿兒嶋藩時の風に似たりと内外新報に見ゆ

○北海道札幌　邊の婦女子は近來毛糸を以て手袋頭巾靴下なとを製する事に熱心し婦人一般の職業の如く思へりと云ふ

○露國大學　露國醫事新誌の報する所によれば今般同國モスコー府に於て私立大學を設立し專ら女子の教育を謀るよし即ちこれを三分科に區別し哲學數學萬有學の三とし萬有學中に

は醫學部を設け女子醫學生を養成すと云ふ(醫事新誌)

○女子十八名の建議　筑前福岡にて妙齡有志の女子十八名は福岡尋常師範學校女子生徒募集の儀に付縣會議長中村耕介氏に宛て一篇の建議書を出せしに議長は去る十九日の縣會にて議員の參考に供する旨を述べ之を朗讀せしめたるよし福岡日々新聞に見ゆ其建議書は左の如し

妾等謹て一書を福岡縣會議長中村耕介君足下に呈し本縣女子教育擴張の事を建言す足下幸に妾等の身は既に女子教育の熱心と社會改進の氣運の爲に制せられ自ら不肖を顧るに遑あらす終に此の重要事件を提出するに至りたるの微衷を憐み之を議場の一問題に採擇せられ之を本年に實施せらるゝに至らんことを足下及ひ議員諸君に切望して止む能はさるなり今や既に妾等か客歳通常縣會閉止の後よりして望を期し指を折りて待ちに竢ちたる明治二十年度通常縣會開始の日とはなりたり何を以てか妾等か此の如く剴切なる精神を抱きたりと謂んに從來本縣女子教育の程度は全國中大なる劣等にあり否果して劣等にありとせは實に妾等か勇猛進して優等の位地を占むるを務めさるを得さるも元來之れか進路の壅塞して通せさるか故女子教育の事は久しく迷霧の中に彷徨して其萌芽を發揚すること能はさりしなり是を以て明治十六年八月より同十七年八月に至るの間福岡區役所に於て女教師養成所を設け其講習年月の短少と學科の淺近なるを問ふに遑あらす倉皇業を卒へしめ一時僅かに女兒教育の需用に供したるものは實に不完全なる女教師即ち妾等の如き者是れなり然るに全國中東北に中國に女子教育の擴張は月を經年を逐て之を是れ勉め四國の全縣及九州の二縣即ち長崎鹿兒島の如きも早く已に女子師範學校の設けありて陸續業を卒へて將に大に社會に盡すあらんとする今日なるも獨り福岡幾萬の女子に在ては僅かに普通教育の範圍を脱したるの曉は行かんとするに路なく學はんとするに法なく徒らに遠大の志を餒らして空しく貴重の時を送り知らす識らす舊習に染み古態に沈む古來儒教の弊害に陷り男子又女子を奴隷視するの餘風を免れす是れ誠に西隣の女子は文明の花を開かんとし東家の女子は依然舊風に吹かるゝの形狀にあらさるか翻て都門の榮光を見れは駸々進て女子教育の事及ひ女風の改良に注意し其結果となりて世に顯はるゝものゝ果して社會に裨益する所あるは妾等の最も羨望する所なり此の如く全國の女子か漸く社會に頭角を出さんとするに至りたるものは皆是れ當路者能く其れ之れを計畫首唱したるに職として是れ由らさるはなきなり文部大臣亦此に注意せらるゝの深さは妾等の常に耳にする所にして即ち今日々本女子教育の盛况を致せしを以て見るなり

斯く教育の時運なるか故に妾等は私かに明治二十年度よりしては縣廳に於ても必す女子教育の基礎即ち女子師範生徒募集の事を定め之れを縣會に對するの一議案として提出せらるゝならんと豫期したりき然るに何そ圖らん妾等か聞く所に據れは縣廳の計畫此に出てす本年五月二十八日文部省令第十號第九條に據り本縣師範生徒の定員百五十名の内よりして男生徒百二十五名を募集するに止め殘員僅かに二十五名を女生徒に當てたるまてにして之を實際募集せらるゝや否疑ふに由なし而して師範學校新築の事を聞くに女生徒に係る構造費目ありと云へは想ふに縣廳は校舍新築落成の後に於て女生徒を募集することに内定せられたるものと想像すへしと雖も學校新築の事は之を足下及ひ議員諸君か果して可決せらるゝや否妾等の敢て豫知すへからさるものな

れは妾等及ひ妾等と同感なる福岡の女子は實に前途望洋の歎を免ること能はさるなり（中略）妾等か特に此に連署して足下に冀ふ所のものは明治廿年度よりして女子師範生徒五十名を募集せられんことを議決せられ妾等及ひ同感の本縣女子に明治の隆盛に際會したるの榮を聊か附與せられんこと則ち是れなり然りと雖も縣廳に於て既に女生徒募集の事は學校新築後の着手に決したるなりと聞けは其容易に之を變換せらるヽものにあらさるへしとするも妾等ハ此の如き熱心と氣運の爲に制せられ之を足下及ひ議員諸君に望て止む能ハさるなり若夫目下校舍の狹隘にして女生徒を寄宿せしむること能ハすんハ妾等同感の女子ハ星を戴て出て月を踏て家に達するの遠地に在るも決して通學の勞を辭せさるへきなり（中略）希くハ足下前陳の事情を諒知せられ之を議員諸君に諮り議場の問題に採擇せられ議事の可決を得て以て本縣女子教育擴張の基礎を樹て縣下幾万の女子をして日進の氣運に後るヽことなからしめんとを是れ眞に今日の一大急務なることと妾等の確く信して疑ハさる所なり足下其れ幸に察焉頓首再拜

福岡區博多川端町	竹森	うたきち
早良郡原村	山田	きさ
那珂郡警固村	梶川	つね
福岡區福岡因幡町	尾崎	ちか
早良郡谷村	藤野	たけ
福岡區福岡職人町	横山	ちよ
同　大名町	柴田	よね
同　湊町	松尾	ふく
那珂郡堅粕村	村上	きく
福岡區荒戸町	大島	ほとり
同	仝	まとか
早良郡谷村	猪野	さき
那珂郡三宅村	藤野	ひさ
福岡區福岡橋口町	田中	もと
福岡區博多店屋町	岩崎	しけ
福岡區藥研町	垣生	さか
那珂郡本庄村	平野	かつみ
福岡區荒戸町	江藤	ちよ

●社告

○本社移轉の事

弊社義看客諸氏の愛顧と社友諸君の補助とに由り社務大に擧り雜誌の發賣部數も近來頗に增加致候に付ては從來の場所に於て不便の事も不尠此度新橋日吉町八番地に移轉仕り益す社務擴張に盡力致候間一層御愛顧補助あらんとを請ふ

○書籍取次の事

弊社は看客の便利を圖り凡そ女學に關係ある書籍にして東京府下の書肆中にて出版したる者は一切無料にて取次郵送可仕候依て右注文の方は書名と出版者の宿所姓名とに合せて定價の金員を送附あるへし尤も大抵は其内にて郵送貸を辨し申すと雖も大部の書は別に郵貸を請求可致候（但し女學外の書籍と雖も時宜により右樣の取次可仕候）

○書籍出版の事

弊社は女學に關係ある書籍を著作し玉ふ方々の便利を圖り適當の方法を以て其出版及發賣を擔任可致候尤も其方法は原稿一覽の上御相談仕候也

○雜誌切手の事

弊社は看客御遣ひ物贈答の便利を圖り此度雜誌切手なる者を發行致候右は女學雜誌若干部數の代價として割引の金員を受取り之に相應する額面の手形を差上候義に付四季折々の御遣物には最上の御便利と可相成一には女學擴張の爲め大なる効能可有之被存候

東京京橋區日吉町八番地

女學雜誌社

船越鼎太郎君著

産婦小兒 攝生法

（新著） 一冊十八錢郵送税四錢

右は産婦小兒の養生法を平易なる文章にて何方にも分り易き樣認めたる者なれども所論は一々學理に照して實際を監み專ら當今の養生法其道を盡さゞるとを加へたり故に月經の心得より、姙娠したるか否やを知ると、出産の期日を知る法、姙娠中の養生法、産後の養生法、赤子のとりあつかひ乳を飲まする間の養生法、母の乳を用ひずして子供を育つる法等ことごとく信切に教へたり世の母たらん人は何卒一冊を座右に置きて最愛の生子を誤りて取扱ひ玉ふやうのとなからんを希ふ

（出版[illegible]） 新橋日吉町八番地 女學雜誌社

教育

毎月二回發兌●正價一冊金八錢●全國中配達無料●前金の外一切遞送せず●郵券代用の向は遞送費御自辨●割引半年分前金九十錢●一年分全一圓六十八錢●二年分全三圓十二錢●本月二十五日第十八號刊行●目錄合計五十二件

本誌は青年學生の智德を發育するを以て目的とす●記載種目は●官令摘錄●社説●學術（地理、天文、修身、法政、政治、法律、論理、心理、修辭、衛生、理化、博物等）●技藝（書畫、音樂、遊戲、農業、工業、製造、器械、[illegible]等）●傳記●史談●歌俳詞曲●詩文●漢學講義●應答●懸賞論文●隱語寓言●算術●復文●格言●學事質問●頴才競進●中外雜報●羅馬字論●英語獨修（リードル獨學、地理書獨學、會話獨學等）等にして附錄處々密畫を插入し印刷鮮明、紙は上等冊間實に其比を見ざるの良雜誌なり

本誌は夙に開卷有益學生必讀の好評を賜はり[illegible]而改良仕候處先頃より**明宮樣**の御爲御買

宮内省より御用被命弊社の光榮之に過るものなく爾來全國各地の師範學校中小學校等より引續御注文を蒙り社運日增隆盛相成候に付ては尚ほ此上とも好材料を博集し江湖諸君の御愛顧に相酬ひ可申何卒家に修學の男女子あらせらるゝ御向は陸續御用向の程厚望の至に奉存候

東京淺草區南元町廿四番地 **贊育社**

◎帝國大學總長渡邊洪基君題字●澁木善治君校閲

●高橋要亮君編著

經濟秘法 廢物利用 第二編

定價金六十錢 實價金四十八錢 郵税十二錢

文明漸く進んで遺利益々開發し智巧愈々闢けて工藝倍々盛んなり第一編を發して以來幸に天下公衆の注目する所となり東西兩京に牛血毛利用法の發明あり北海道に馬肉食用の擧あり大坂に廢物利用の會社起り遺利の空しく埋沒するもの將に大に人生を潤ほさんと欲す是に於て予著者開物の主義愈々天下に普ねからんとす第二編は一層開物の主義を擴張し通俗の文を以て廣く各法奇術を網羅し併せて日常の經濟法を記述したるものにて例へは、魚類の廢棄物より膠を製する法、腐敗したる馬鈴薯より酒を釀す法、樹皮の染料に種々ある事、羽毛の利用法等總て百四十餘件の新法を一々説明せる稀世の珍書なり江湖殖産經濟の士此書を利用し無價を變じて有價と爲し遺利を收め、公[illegible]と爲さは富國[illegible]の實を獲んこと必せり矣

◎發兌 ○東京々橋區彌左衛門町七番地 經濟雜誌社 ○麻布本村町二百十七番地 學農社雜誌局 ○新橋日吉町八番地 女學雜誌社

◎賣捌 ○同日本橋區大倉孫兵衛 ○同丸善書店 ○同南傳馬町發書閣 ○同穴山篤太郎 ○同銀座中近堂

教育時論

（第九十八號） 十一月廿五日發兌 一冊五錢郵税一錢

○説●[illegible]京[illegible]の事業如何○論説●禁酒論（高島平三郎）●實物教授（[illegible]司[illegible]）○學術●哲學道中記（井上圓了）圖式教授法（[illegible]地復[illegible]）○雜記じろんのすさび（ゑ、ひ、）英文二節●月夜清談●家庭教育○論題●自由運動ト紀律運動トノ得失如何（八篇）小學生徒ヲ勵センカ爲メ筆墨紙ヲ賞與スルノ可否（三篇）論題●孩兒ノ泣ク癖ト惡意地トヲ矯ムルノ良法如何（村尾恪太郎提出）猥褻ノ俚謠ヲ改良スルノ策如何（宮莊太郎提出）○内外雜纂三十件○官報抄錄三項○廣告十數件

發兌所 東京下谷區練塀町十四番地 開發社

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

郵遞局認可

婦人矯風會

役員撰定及び演說會を來六日（第一月曜日）日本橋教會々堂に於て午後二時より相開候に付有志の姉妹は御來會を乞ふ　委員白

洋服裁縫科
國語學科

本校は女子の教育を專とし是迄英漢數裁縫習字の五科を教授せしが今般規則を改正し本科別科を分ち更に左の二科を教授す其詳細は本校規則に詳なり

洋服裁縫は方今衣服改良の說漸次盛なるに從ひ婦女子に必要の業なり故に其途に熟練の者を聘し一兩年にて卒業せしむ

本科は從來和文科と稱して一種雜駁なる授業式を用ふる爲に常に多數の年月を要す依て當舍は從來の式を廢し華族女學校の新式に倣ひて專ら法則を教ゆ

敬愛學舍

神田區駿河臺北甲賀町六番地

添註 土佐日記俚言解

小中村清矩校閲　佐々木弘綱註解　○金四十錢　○全一冊

竹取物語俚言解

佐々木弘綱先生解　○金四十錢　○全一冊

文話 上下

鈴木弘恭先生著述　三大人批評并小序　合本（完）　正價金四十錢　郵稅六錢

此書は古事紀出雲風土記祝詞式續日本紀竹取物語伊勢物語源氏物語枕草紙土佐日記蜻蛉日記紫式部日記更科日記十六夜日記等より撰集して本文の傍に眼目照應對句抑揚頓挫省筆等の符を附し一目して文法を了解し易く示されたるを黒川眞頼小中村淸矩田中頼庸等の卓識を以て詳細に評語を下し給ひたれば眞に本朝作文の模範とす可き良書なり

東京本郷區春木町三丁目十四番地　文魁堂

六合雜誌

（第七十一號）（十一月卅日發行）

○亞細亞の光と世界の光（井深梶之助）○泰平世界英雄論（偽高猪一郎）○基督教を信ずるの理由（小崎弘道）○人類學一斑評原人論（高橋吾良）○心理學講義（浮田和民）○スペンセル氏の哲學を評す（マコッシ）○インマヌエルカント○

一冊十錢、郵稅なし、毎月一冊發行

東京々橋區瀧山町六番地　警醒社

定價廣告

一冊。	五錢　郵稅。一錢（但府內無郵稅）
十冊。	四十八錢郵稅。十錢（同前）
廿冊。	九十錢　郵稅。廿錢（同前）
卅冊。	一圓卅錢郵稅。卅錢（同前）

一ケ月分女學雜誌代價	十五錢	府外へ十八錢
二ケ月分同	三十錢	府外へ三十六錢
三ケ月分同	四十五錢	府外へ五十四錢
半　年分同	八十八錢	府外へ一圓六錢
一　年分同	一圓六十錢	府外へ一圓九十六錢

一行（廿八字詰）	一回	前金拾錢
同	三回以上	一割引
同	六回以上	二割引

十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。但し不道德なる事物の廣告は謝絕す有益なる事物の廣告は社處の上無代價にて引受く女學關係の書籍は一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし

女學雜誌賣捌所

所在	賣捌所
東京神田區淡路町	巖々堂
東京芝西久保櫻川町	萬春堂
東京神田區雉子町	國々社支店
同神田區佐柄木町	東海堂
同日本橋區新段町	貝明堂
同京橋區木挽町壹丁目	萬字堂
同本郷區元富士町	盛春堂
同本郷區春木町二丁目	解明堂
京都四條通小橋へ入	澤集光堂
同三條通東洞院西へ入	山本盤松
大坂備後町四丁目	岡島支店
伊勢國松坂白粉町	家里初枝
仙臺國分町五丁目五番地	伊勢安支店

發行所

東京新橋日吉町八番地

本局　女學雜誌社

持主兼編輯　巖本善治

印刷　森田豐

WOMEN'S MAGAZINE.

"Jogaku Zasshi."

Price 5 sen. By post yen 1.06 six months, yen 1.96 per annum, in advance.

Edited and published by Y. H. Iwamoto, at Jogaku-Zasshi-sha, No. 8 Hiyoshichô, Shindbashi, Tôkyô.

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

東京本郷區春木町三丁目十四番地　文苑堂

六合雜誌　（第七十一號）（十一月卅日發行）
○亞細亞の光と世界の光（井深梶之助）○泰平世界英雄斕（德富猪一郎）○基督敎を信ずるの理由（小崎弘道）○人類學一斑評原人論（高橋吾良）○心理學講義（浮田和民）○スペンセル氏の哲學を評す（マコッシ）○インマヌエルカント○
一冊十錢、郵税なし、毎月一冊發行
東京々橋區瀧山町六番地　警醒社

京都四條通小橋へ入
同　三條通東洞院西へ入
大坂備後町四丁目
伊勢國松坂白粉町
仙臺國分町五丁目五番地

岡島支店
家里初枝
伊勢安支店

發行所
本局　東京新橋日吉町八番地　女學雜誌社
持主兼編輯　巖本善治
印刷　森田豐

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

郵遞局認可

婦人矯風會

役員撰定及び演說會を來六日（第一月曜日）日本橋教會々堂に於て午後二時より相開候に付有志の姉妹は御來會を乞ふ　委員白

洋服裁縫科

本校ハ女子の教育を專とし是迄英漢數裁縫習字の五科を教授せしが今般規則を改正し本科別科を分ち更に左の二科を教授す其詳細ハ本校規則に詳あり

洋服裁縫ハ方今衣服改良の說漸次盛なるに從ひ婦女子に必要の業なり故に其途に熟練の者を聘し一兩年にて卒業せしむ

國語學科

本科は從來和文科と稱して一種雜駁なる授式を用ふる爲に常よ多數の年月を要す依て當舍ハ從來の式を廢し華族女學校の新式に傚ひて專ら法則を敎ゆ

神田區駿河臺北甲賀町六番地

敬愛學舍

添註 土佐日記俚言解

小中村清矩校閱 佐々木弘綱註解 ○金四十錢 ○全一冊

竹取物語俚言解

佐々木弘綱先生解 ○金四十錢 ○全一冊

文話 上下

鈴木弘恭先生著述 三大人批評幷小序 合本（完）正價金四十錢 郵稅六錢

此書は古事記出雲風土記祝詞式續日本紀竹取物語伊勢物語源氏物語枕草紙土佐日記蜻蛉日記紫式部日記更科日記十六夜日記等より撰集して本文の傍に限目照應對句抑揚頓坐省筆等の發を附し一目して文法を了解し易く示されたるを黑川眞賴小中村淸矩田中頼庸等の卓識を以て詳細に評語を下し給ひたれば眞に本朝作文の模範とす可き良書あり

東京本郷區春木町三丁目十四番地　文延堂

六合雜誌

（第七十一號）（十一月卅日發行）

○亞細亞の光と世界の光（井深梶之助）○泰平世界英旅綱（德富猪一郎）○基督敎を信ずるの理由（小崎弘道）○人類學一斑評原人論（高橋吾良）○心理學講義（浮田和民）○スペンセル氏の哲學を評す（マコッシ）○インマヌエルカント○

一冊十錢、郵稅なし、毎月一冊發行

東京々橋區瀧山町六番地　警醒社

定價

一册。五錢　郵稅。一錢（但府內無郵稅）
十册。四十八錢郵稅。十錢（同前）
廿册。九十錢　郵稅。廿錢（同前）
卅册。一圓卅錢郵稅。卅錢（同前）

一ヶ月分女學雜誌代價十五錢　府外ヘ十八錢
二ヶ月分同　三十錢　府外ヘ三十六錢
三ヶ月分同　四十五錢　府外ヘ五十四錢
半年分同　八十八錢　府外ヘ一圓六錢
一年分同　一圓六十錢　府外ヘ一圓九十六錢

廣告

一行（廿八字詰）一回　前金拾錢
同　三回以上　一割引
同　六回以上　二割引

十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。但し不道德なる事物の廣告は謝絕す有益なる事物の廣告は社誌の上無代價にて引受く女學關係の書籍は一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし

女學雜誌賣捌所

東京神田區淡路町　巖々堂
東京芝西久保櫻川町　萬春堂
東京神田區雉子町　國々社支店
同神田區佐柄木町　東海堂
同日本橋區新段町　貝明堂
同京橋區木挽町壹丁目　萬字堂
同本郷區元富士町　盛春堂
同本郷區春木町二丁目　解明堂
京都四條通小橋へ入　擇集堂
同三條通東洞院西へ入　山本光松
大坂備後町四丁目　岡島支店
伊勢國松坂白粉町　家里初枝
仙臺國分町五丁目五番地　伊勢安支店

發行所

東京新橋日吉町八番地

本局　女學雜誌社

持主兼編輯　巖本善治

印刷　森田豐

WOMEN'S MAGAZINE.

"JOGAKU ZASSHI."

Price 5 *sen*. By post *yen* 1.06 six months, *yen* 1.96 per annum, in advance.
Edited and published by Y. H. Iwamoto, at Jogaku-Zasshi-sha, No. 8 HIYOSHICHŌ, SHINBASHI, Tōkyō.

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY